矢部川流域景観テーマ協定

平成１９年５月

筑後田園都市推進評議会
矢部川流域景観協議会・準備会

はじめに

筑後地域は、矢部川、筑後川といった河川、広大な筑後平野、耳納連山等の自然の骨格が、人々の暮らしや歴史とともに、地域固有の悠久の景観を創り出してきました。とりわけ、有明海に注ぐ豊かな水を湛え、中流から上流にかけての大部分が県立自然公園に含まれる矢部川流域には、利水・治水はもちろんのこと、生態系、文化、営みなどの様々な点で相互につながりを持つ多様な景観が創り出されてきました。

また、古代からの遺跡も多く、中世から近世にかけての歴史上の舞台にもなってきました。近世には矢部川が、有馬藩、立花藩の境界域であったことから、当時の技術を駆使して築造された橋梁や堰、廻水路などの景観資源が多数残り、先人達が矢部川流域の気候・風土の中で創り出してきた棚田や歴史的なまちなみなどの個性的な営みの景観も、今日まで継承されてきています。

その一方で、九州新幹線、有明海沿岸道路、筑後広域公園などの大規模事業が進められており、今後、矢部川流域の景観が大きく変化していくことも予想され、無秩序な都市開発等の影響により、景観が悪化していくことも懸念されます。

こうした中、矢部川を骨格とした広域的な景観づくりを先駆的に取り組んでいくために、市町村、県、関係団体等が協働して、この『矢部川流域景観テーマ協定』を定めることとします。

今後は、この協定に基づき、流域全体の共有財産として、かけがえのない矢部川流域の素晴らしい景観を守り、育てていきます。

目　　次

第１章　矢部川流域景観テーマ協定の目的と役割　01

第２章　矢部川流域の景観特性　05

第３章　テーマと目標　15

第４章　基本方針　21

第５章　実現のためのルールと仕組みづくり　35

補足資料１　協働して守り育てる景観　41

補足資料２　周囲の景観を阻害している景観事例　55

第１章　矢部川流域景観テーマ協定の目的と役割

1.1　目的と役割

筑後田園都市推進評議会では、「筑後ネットワーク田園都市圏構想」を推進するために、筑後地域における景観のルールづくりに向けた検討を進めてきました。その中で筑後川、矢部川、有明海、耳納連山等の骨格を中心とする広域の景観については、地域住民、事業者、地域団体・ＮＰＯ、市町村、県等が協働して推進するために「テーマ協定」を定め、一体的な景観づくりに取り組んでいくこととしています。

その最初の協定である『矢部川流域景観テーマ協定』は、自然や人の営みによって創り出された矢部川流域の景観を対象に、市町村、県、行政の関係機関、地域団体・ＮＰＯ等が一体となって策定する全体的な目標や方針であると共に、今後、協働して景観づくりに取り組む上での共通認識となることを目的としています。また、矢部川流域の景観を整備・保全していく上での共通の基本的考え方として、今後、この協定に基づき、矢部川流域を対象とする景観計画の策定に着手します。

1.2　対象区域

「矢部川流域景観テーマ協定」の対象区域は、矢部川流域を含む、柳川市、八女市、筑後市、みやま市、黒木町、立花町、矢部村、星野村の８市町村の範囲としています。

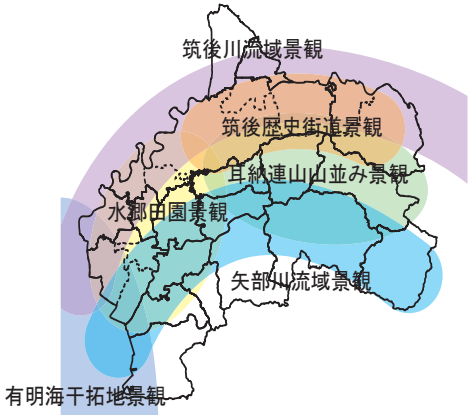
矢部川に注ぐ支流である星野川、田代川、辺春川、白木川、飯江川等の河川や、矢部川から分岐して有明海に注ぐ沖端川、塩塚川等の河川とその流域を含む区域も対象区域に含んでいます。

これらの区域は、河川、道路、山並み、田園等の広域にわたる景観要素を共有する区域であると同時に、生態系の観点からも、また歴史的、文化的な観点からも相互に関係を持つ区域です。

このように相互に深い関係を有する景観を「矢部川流域景観」として一体的に捉えることにより、市町村単独では難しい広域的な景観の保全・形成やその観光への活用を、共通の目標と方針のもとに進める区域として設定するものです。

筑後の６つのテーマ協定の候補

①矢部川流域景観テーマ協定
②筑後川流域景観テーマ協定
③有明海干拓地景観テーマ協定
④耳納連山山並み景観テーマ協定
⑤水郷田園景観テーマ協定
⑥筑後歴史街道景観テーマ協定



矢部川流域景観テーマ協定の対象区域

1.3　テーマ協定の構成

『矢部川流域景観テーマ協定』を以下のように構成します。

第１章　矢部川流域景観テーマ協定の目的と役割
- １．１　目的と役割
- １．２　対象区域
- １．３　テーマ協定の構成

第２章　矢部川流域の景観特性
- ２．１　歴史と文化と伝統産業
- ２．２　水のネットワーク
- ２．３　多様な生態系
- ２．４　大きく変化する地形

第３章　テーマと目標

【テーマ】
清流文化と変化する地形が織り成す景観の保全と創造

- 目標１．矢部川流域に広がる「地形や大自然とのつながりを感じる景観」を守り・育てる
- 目標２．清流とその水辺に棲む「生態系と共に生きる景観」を守り・育てる
- 目標３．水系が育んできた「文化・歴史・営みが織り成す景観」を守り・育てる

第４章　基本方針
- 方針１．矢部川流域の絵になる景観の形成
- 方針２．水環境や水の循環と密接に関わる景観の形成
- 方針３．まちなみと歴史的景観の形成
- 方針４．四季や時間による変化を楽しむ景観の形成
- 方針５．連続した良好な景観の形成
- 方針６．景観と調和したデザインの創出等
- 方針７．パートナーシップによる景観づくりの推進

第５章　実現のためのルールと仕組みづくり
- ５．１　協働して守り育てる景観のためのルール
- ５．２　担い手を育てるための仕組み
- ５．３「重点かつ総合的に景観形成を進めていく区域」におけるルール
- ５．４　協定から景観づくり実施への流れ

補足資料１　協働して守り育てる景観

補足資料２　周囲の景観を阻害している景観事例

第２章　矢部川流域の景観特性

2.1　歴史と文化と伝統産業

古くから矢部川流域では、矢部川の清流とともに様々な文化と伝統が育まれてきました。また、数々の名将、豪勇たちが歴史絵巻を繰り広げてきた場でもありました。豊かな自然とともに、こうした永年の歴史と文化の蓄積が、今に継承される様々な景観の下地を創り出してきました。

１）歴史

①古代の地域形成

矢部川上流にあたる八女地域は、「日本書紀」に早くからその名が記されており、古くは古墳時代の頃から繁栄した地域だとされています。その頃、矢部川上流一帯を治めていたのは、現・矢部村の八女津媛（やめつひめ）神社の祭神である「八女津媛」であったと伝えられています。また、701 年に大宝律令が制定されたのに伴い、条里制に基づく整然とした圃場整備が行われました。

②中世・近世の繁栄と水争い

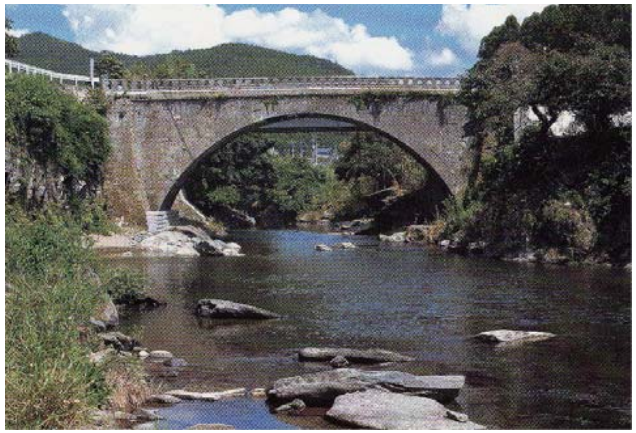
中世の頃には律令制が衰退し、私有地である荘園が発生し、それを管理する黒木氏、星野氏、蒲池氏ら有力豪族が台頭して、その勢力争いとともに戦国時代を迎えます。

関が原の合戦の後に田中吉政が筑後に入封し、柳川に居城して、城づくりやクリークを活かした治水事業に大きな功績を残しました。

その後、田中氏改易の後、筑後は有馬藩（久留米藩）、立花藩（柳川藩）の２藩により治められ、２藩の境界に位置する矢部川では、いくつもの堰、廻水路が設けられ、農業利水を巡る幾多の「水争い」を繰り広げられてきました。こうした歴史とともに、この地域特有の互譲の水利慣行が行われてきました。

③近世の街道の発達

江戸時代中期以降には、薩摩街道、久留米柳川往還等の街道の整備が進み、人や物資の移動が盛んになり、羽犬塚や瀬高など宿場町が栄えます。また、矢部川の水利・水運や山間地の木材などの豊富な資源を背景に、八女福島の仏壇など様々な伝統産業が興ります。一方、有明海沿岸では慶長本土居などの干拓事業が盛んに進められました。



洗玉橋（八女市上陽町）

■薩摩街道・その他の街道と宿場町

筑紫野
基山
鳥栖JCT
鳥栖
東脊振トンネル
佐賀大和
久留米
久留米
高良大社
耳納山地
上野
広川
羽犬塚
八女
小保
柳川
瀬高下田
瀬高上宮
原町
南関
矢部川
早津江川
筑後川
佐賀空港
甘木
久大本線
甘木鉄道
松崎
筑後小郡
西鉄天神大牟田線
佐賀大和
佐賀
佐賀本線
長崎本線
鹿児島本線
羽犬塚
八丁牟田
柳川
西鉄柳川
瀬高
塩塚
渡瀬
三池街道
南関
南関
耳納山地
高良大社
久留米
久大本線
甘木
大堰
北野
筑後小郡
松崎
甘木鉄道
鳥栖
鳥栖
中原
久留米
久留米
西鉄久留米
久留米
西鉄久留米
久留米
西鉄久留米
佐賀
佐賀
佐賀本線
長崎

２）文化と伝統産業

矢部川流域には多くの神社、仏閣が設けられ、特に天満宮が各地で祀られています。そこでは各地域特有の風流、神幸祭などの祭りや祝い事、奉納が行われ、季節の景観や祭事の景観として継承され、現代の日常生活や営みにも影響を及ぼしてきました。

①歴史ある祭事

各地で行われる祭りの多くは、五穀豊穣、無病息災、水難・海難からの無事を祈るものが多く、「風流・はんや舞（星野村）」、「水田天満宮稚児風流（筑後市）」、「ドンキャンキャン・廣田八幡神社神幸行事（みやま市）」、「中島祇園祭（柳川市）」などが古くから地域の祭りとして継承されてきました。

②地域振興のイベント

最近では、矢部川河川敷の各地で行われる花火大会や八女市上陽町星野川での「万灯ながし」等の地域振興を目的としたイベントも盛んに行われています。

③環境資源や水運を活用した伝統産業

また、矢部川の水利･水運や山間地の木材により、雛人形、仏壇、提灯、竹細工、手すき和紙、樟脳や蝋づくり、線香づくりなど様々な伝統工芸･産業が発達し、地場で産出する凝灰岩の「長野石」を加工する石灯篭づくりも盛んに行わてきました。

④文化人の育成と輩出

こうした様々な伝統・文化やその背景である豊かな自然と四季折々に繰り広げられる人々の営みのもとで、詩人である北原白秋や作家の檀一雄、五木寛之などを輩出するとともに、坂本繁二郎、青木繁などの画家たちがこの地を好んで多くの作品を描いています。

このように、矢部川流域では、固有の特色を持つ文化や伝統産業が育まれてきましたが、それらを次世代に継承し、地域振興に活かしていくことが今後の課題でもあります。

風流・はんや舞（星野村）

櫨の蝋づくり（みやま市瀬高町）

今も現役の水車で行われている線香づくり
（八女市上陽町）

2.2　水のネットワーク

矢部川上流域・中上流域では、永年の歴史の中で廻水路による水利システムが確立し、その水利慣行は現在でも引き継がれ、独特な景観を創り出しています。下流域では、有明海の干満による干潟が生成され、人の手による掘削が加えられて、クリーク・掘割に代表される独特な利水・治水システムが創り出されました。クリーク・掘割は、雨水および矢部川河水の貯留による生活農業用水等への利用、水運などの多様な機能を担っており、地域の景観の形成や維持に欠かせない役割を果たしてきました。

その一方で、近代化によるライフスタイルや経済・社会状況の変化により、井堰、廻水路、クリーク・掘割がこれまで担ってきた機能が失われつつあり、その存続が危ぶまれています。永年培われてきた水利システムの消失は、地域の営みや景観の変化にも影響を及ぼすだけでなく、流域全体の水環境、生態系、水循環、利水・治水にも関わる課題として考えていかなければなりません。

１）廻水路

古くから矢部川は、筑後平野南部の灌漑用水の大半を担ってきました。江戸時代に矢部川が､立花藩（柳川藩）と有馬藩（久留米藩）の境界となってから、廻水路という他の河川には例を見ない水利施設が矢部川沿いの左岸・右岸に築造され、立花藩と有馬藩の間で農業用水の争奪が繰り広げられました。その一方で、流れ分け、木杭堰・木樋設置など、相互に用水を融通しあう互譲の水利慣行も行われ、廻水路は地域が協調の風土を育んできたことを示す象徴的な景観資源でもあります。現在では、廻水路は花宗用水組合と柳川市みやま土木組合の２つの水利組合により管理・保全されています。

２）クリーク・掘割

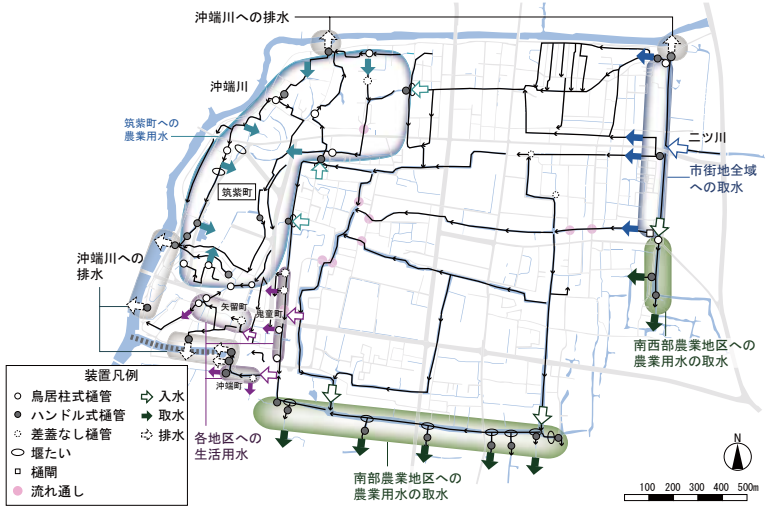
クリークは有明海の潮汐作用による干潟の成長と人為による掘削により形成されたもので、この地特有の景観を創り出しています。その起源は、弥生時代の頃と推測され、その後、条里制の時代を経て、中世荘園時代には「墾田私有令」によって有力豪族による開墾が進められ、クリークの密度が高い環濠集落が形成されました。江戸時代には、沖合に向けた干拓事業が進められ、いくつものクリークが並行に整然と流れる景観が創り出されてきました。

また、柳川城下には、網の目状に掘割が張り巡らされ、軍事的な防御機能を有するだけでなく、人々の飲料水や生活用水にも用いられてきました。掘割には樋管、堰たい、流れ通し等の装置が設けられ、水の流れを管理しています。今では、掘割の一部で舟下りが行われ、観光資源ともなり、水郷地域ならではの景観を形成しています。

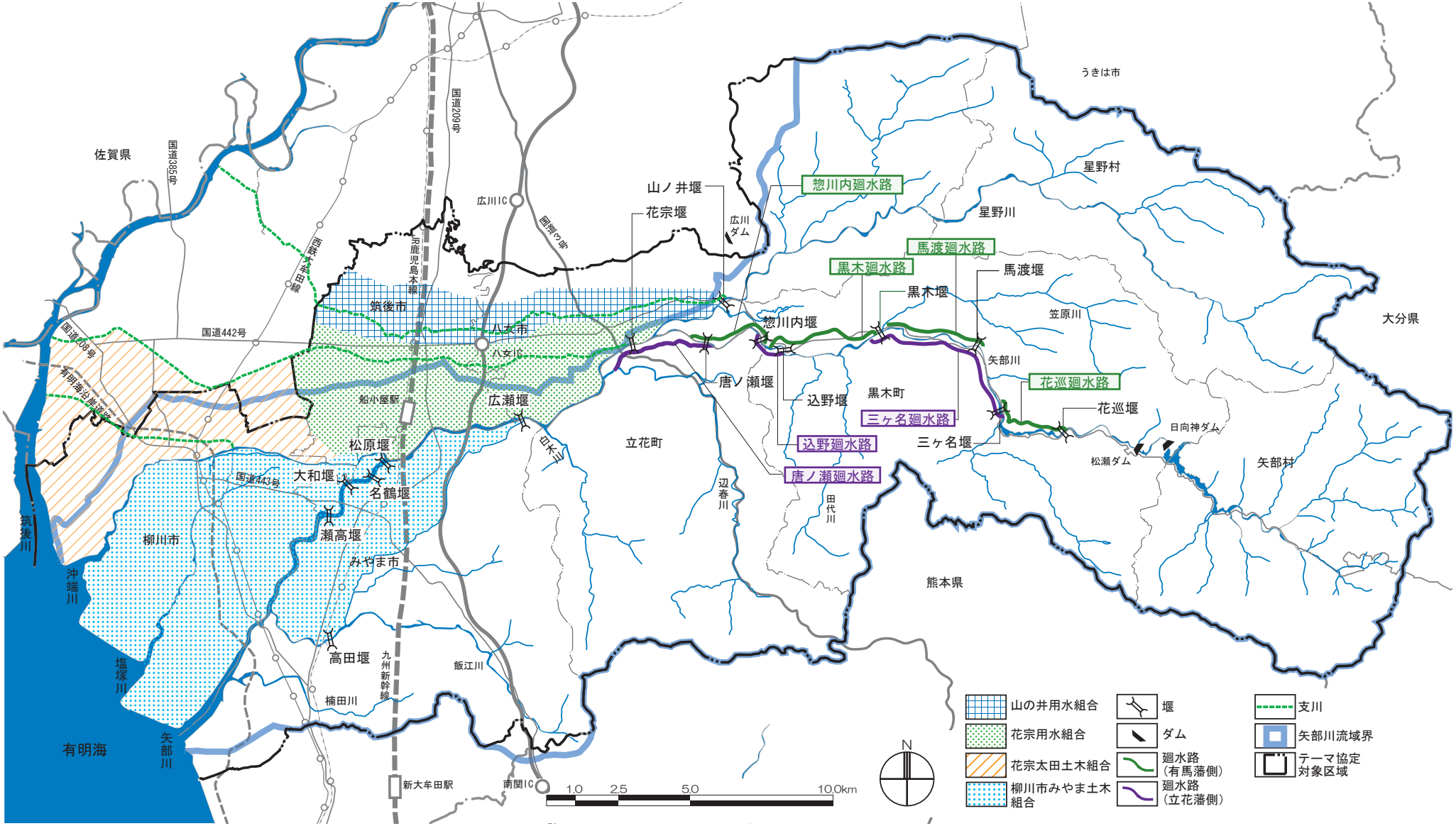
崖づたいに流れる三ヶ名廻水路（黒木町）

昭和 48 年頃のクリーク（柳川市）

柳川の掘割の水の制御



矢部川の廻水路と井堰


佐賀県
国道385号
国道209号
広川IC
国道209号
西鉄大牟田線
JR鹿児島本線
筑後市
八女市
八女IC
国道442号
国道208号
有明海沿岸道路
船小屋駅
広瀬堰
松原堰
大和堰
名鶴堰
国道443号
瀬高堰
柳川市
みやま市
筑後川
沖端川
塩塚川
有明海
矢部川
高田堰
九州新幹線
飯江川
楠田川
新大牟田駅
南関IC
1.0
2.5
5.0
10.0km
N
山ノ井堰
花宗堰
広川ダム
惣川内廻水路
惣川内堰
唐ノ瀬堰
込野堰
黒木町
黒木堰
馬渡廻水路
黒木廻水路
馬渡堰
三ヶ名廻水路
込野廻水路
唐ノ瀬廻水路
三ヶ名堰
花巡廻水路
花巡堰
立花町
辺春川
田代川
田尻川
星野村
星野川
笠原川
矢部川
うきは市
大分県
日向神ダム
松瀬ダム
矢部村
熊本県
山の井用水組合
花宗用水組合
花宗太田土木組合
柳川市みやま土木組合
堰
ダム
廻水路（有馬藩側）
廻水路（立花藩側）
支川
矢部川流域界
テーマ協定対象区域

2.3　多様な生態系

矢部川流域では、瀬、淵、よどみ等の地形やそこに生息する動植物、周辺の自然環境とがあいまって、地域固有の多様な生態系を育んできました。特に河川、廻水路、クリーク等が形成する水のネットワークと、その水辺の湿性植物の群落や樹林とが一体の環境を創り出すことにより、豊かで多様な動植物が生息する生態系を形成しています。

こうした生態系と景観とは密接な関係にあり、景観の保全・整備は生態系の保全にも配慮して慎重に進めていく必要があります。

１）動植物の生息域

矢部川上流域は県立自然公園に指定され、中上流域から中下流域の松原堰までの河川沿いの区域は、県立自然公園に含まれています。また、流域の山間部には５つの鳥獣保護区が指定されています。有明海には海岸線から約３km の範囲で干潟が形成され、都市的な土地利用が進行している区域が少ないことから、動植物の生息環境として比較的良好な環境が形成され、人工的に築造された地盤の上に独特の景観を形成しています。

２）河川区域内の多様な生態系

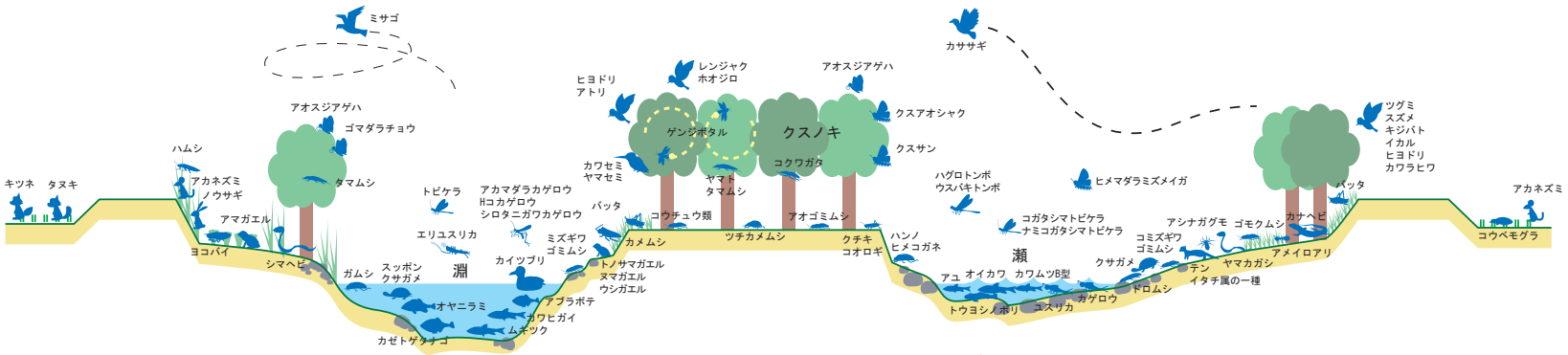
河口から瀬高堰まで感潮区域となっており、また潮の干満の差が激しいことから、有明海特有の生態系が河川の中でも見ることができます。また瀬高堰より上流では、河道が蛇行し、瀬や淵が比較的多いため、多様な生物が生息し、独特の生態系が潜む環境であると同時に、独特の自然景観を創り出しています。

中の島公園（みやま市瀬高町）

多様な動植物が動植物が生息する釈迦岳・御前岳一帯（矢部村）

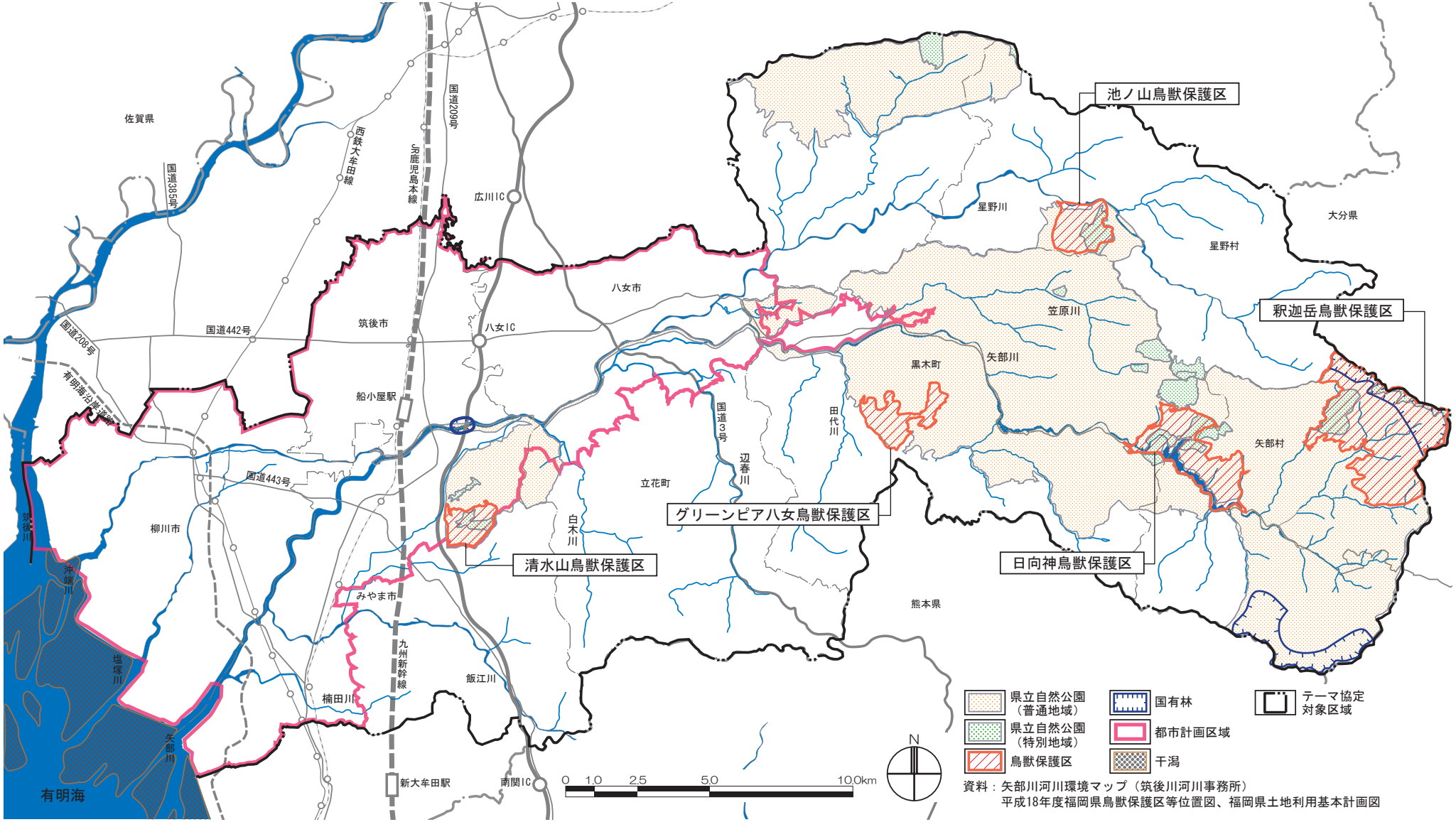
中之島公園周辺の生態系

クスノキを主体とする河畔林や、モウソウチク、マダケ等の竹林が見られ、河道は蛇行しており、瀬・淵が見られます。なお、水際にはツルヨシ群落等が見られます。



出典：矢部川河川環境マップ（平成 17 年３月　国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所）

多様な生物の生息域



資料：矢部川河川環境マップ（筑後川河川事務所）
平成18年度福岡県鳥獣保護区等位置図、福岡県土地利用基本計画図

2.4　大きく変化する地形

山間部の自然地から田園地帯を経て、干拓地へと流れる矢部川は、河川沿いを移動していくと、周辺地形や土地利用の変化に応じて、様々に変化する景観が展開していきます。上流域は幾重もの山々が迫る山岳地帯となっており、中上流域では盆地に農山村集落やまちなみが形成され、その周囲を山並みが囲う景観が広がっており、中下流域では、遠くに筑肥山地の山並みを望みながら、水平的な広がりと奥行きを持つ開放感あふれる田園景観が広がっています。中下流域の西には、網の目状のクリーク・掘割と田園、まちなみが広がる水郷地帯が広がっており、下流域には広大な干拓地が堤防を挟んで有明海の干潟とともに個性的な景観を見せてくれます。このように矢部川流域の地形の特性により大きくは５つのゾーンに分けられ、それぞれに特徴的な景観が展開しています。

【上流域】山々が迫り険しい渓谷がつづく景観

矢部川沿いの黒木盆地より上流域や、星野川沿いの八女市上陽町北川内地区より上流域では、山間を縫うように河川が流れ、川岸まで山が迫り、眺望や視界は狭められます。

近景・中景に自然景観が広がり、その荒々しい光景が特徴を見せています。

【中上流域】山並みに囲まれまちなみや田畑が河川に沿ってつながる景観

周囲の山並みが、１～２km の距離を挟んで取り囲む山間地の景観が続きます。下流に下って行く、星野川では山ノ井堰の附近で、矢部川では花宗堰の手前で、上流から続く山並みが途切れ一瞬視界が開け、景観がダイナミックに変化します。

【中下流域】遠方に山並みが見える広大な田園景観

花宗堰から中島漁港付近までは、楠林や孟宗竹林等の樹林帯が所々あるものの、ほとんどが広大で平坦な田園の広がる景観です。上流とは異なり、広々とした空間を背景として、河川が蛇行し、河川沿いに移動していくと、蛇行する河川の向きに合わせて視線の向きも変化していきます。

遠方には、飛形山、清水山、御牧山などの筑肥山地の山並みを望むことができます。

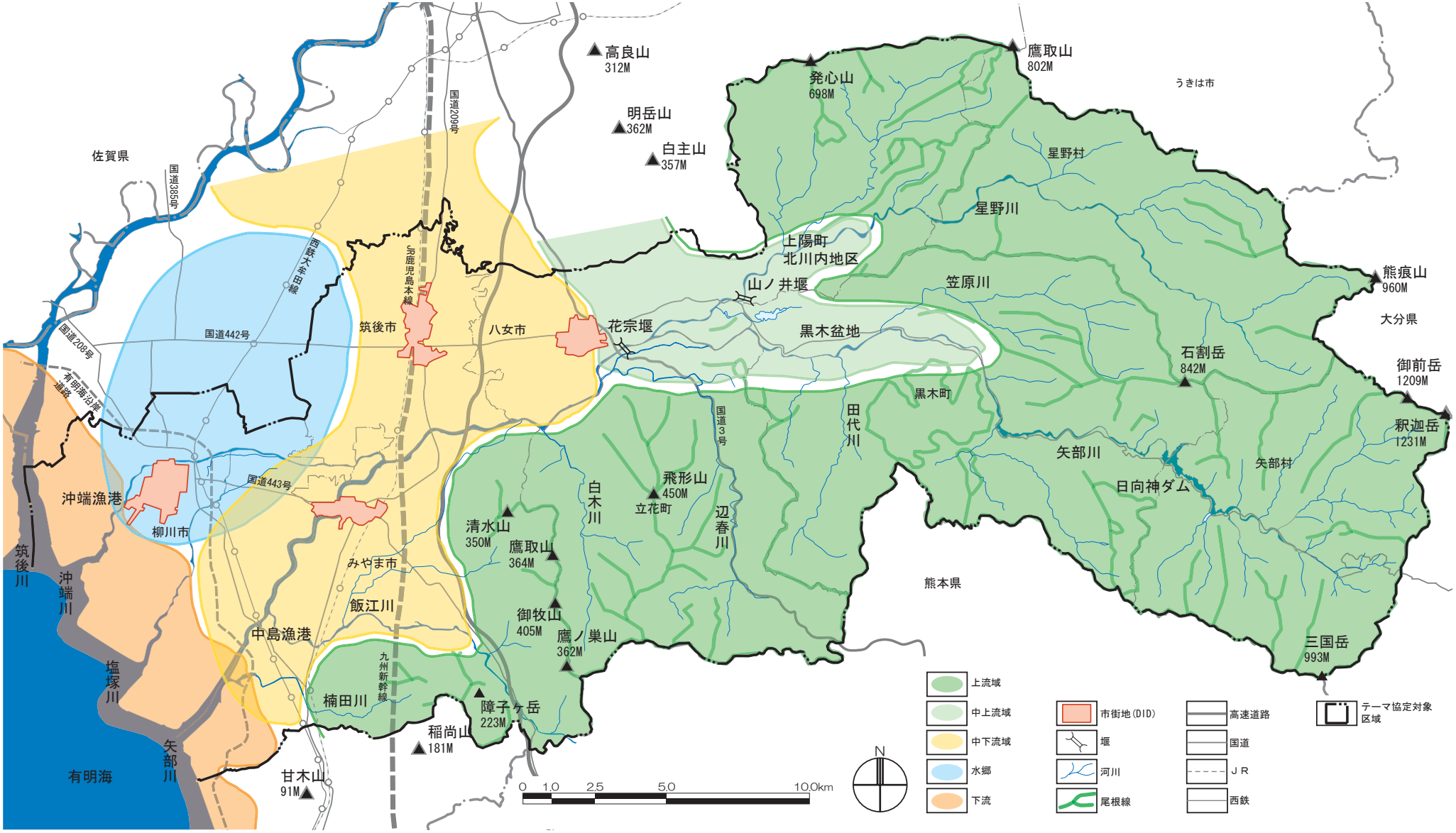
【水郷】掘割・クリークと田園が広がる景観

筑後市西部から柳川中心部にかけて、クリークが縦横に走る田園水郷地帯が広がる景観が展開します。中下流と同様、広々とした田園景観が広がり、山並みはより一層遠くに望むこととなります。

【下流域】干拓地の 360 度広がりのある景観と河川沿いの漁港の景観

中島漁港や沖端漁港より南西部には、広大な干拓地が広がっており、雄大な田園景観を望むことができます。海岸線では堤防により有明海と干拓地が隔てられており、堤防越しには潮の満ち引きによる有明海特有の変化する景観を望むことができます。古代の条里制の跡や、江戸時代以降に行われた干拓事業による潮受け堤防の遺構も、この地域独特の景観を醸し出しています。

ゾーンごとの景観特性


高良山
312M
明岳山
362M
白主山
357M
発心山
698M
鷹取山
802M
うきは市
佐賀県
国道385号
国道209号
星野村
星野川
上陽町
北川内地区
山ノ井堰
笠原川
熊痕山
960M
大分県
西鉄大牟田線
JR鹿児島本線
筑後市
八女市
花宗堰
黒木盆地
国道442号
国道208号
有明海沿岸道路
石割岳
842M
御前岳
1209M
黒木町
田代川
釈迦岳
1231M
国道3号
矢部川
矢部村
日向神ダム
国道443号
沖端漁港
柳川市
白木川
飛形山
450M
立花町
辺春川
清水山
350M
鷹取山
364M
筑後川
沖端川
みやま市
飯江川
熊本県
御牧山
405M
鷹ノ巣山
362M
中島漁港
三国岳
993M
九州新幹線
塩塚川
楠田川
障子ヶ岳
223M
稲尚山
181M
矢部川
有明海
甘木山
91M
0 1.0 2.5 5.0 10.0km
N
上流域
中上流域
中下流域
水郷
下流
市街地(DID)
堰
河川
尾根線
高速道路
国道
JR
西鉄
テーマ協定対象区域